

総合基本計画（後期計画） 策定に向けた説明会 資料

昭島市総合基本計画審議会

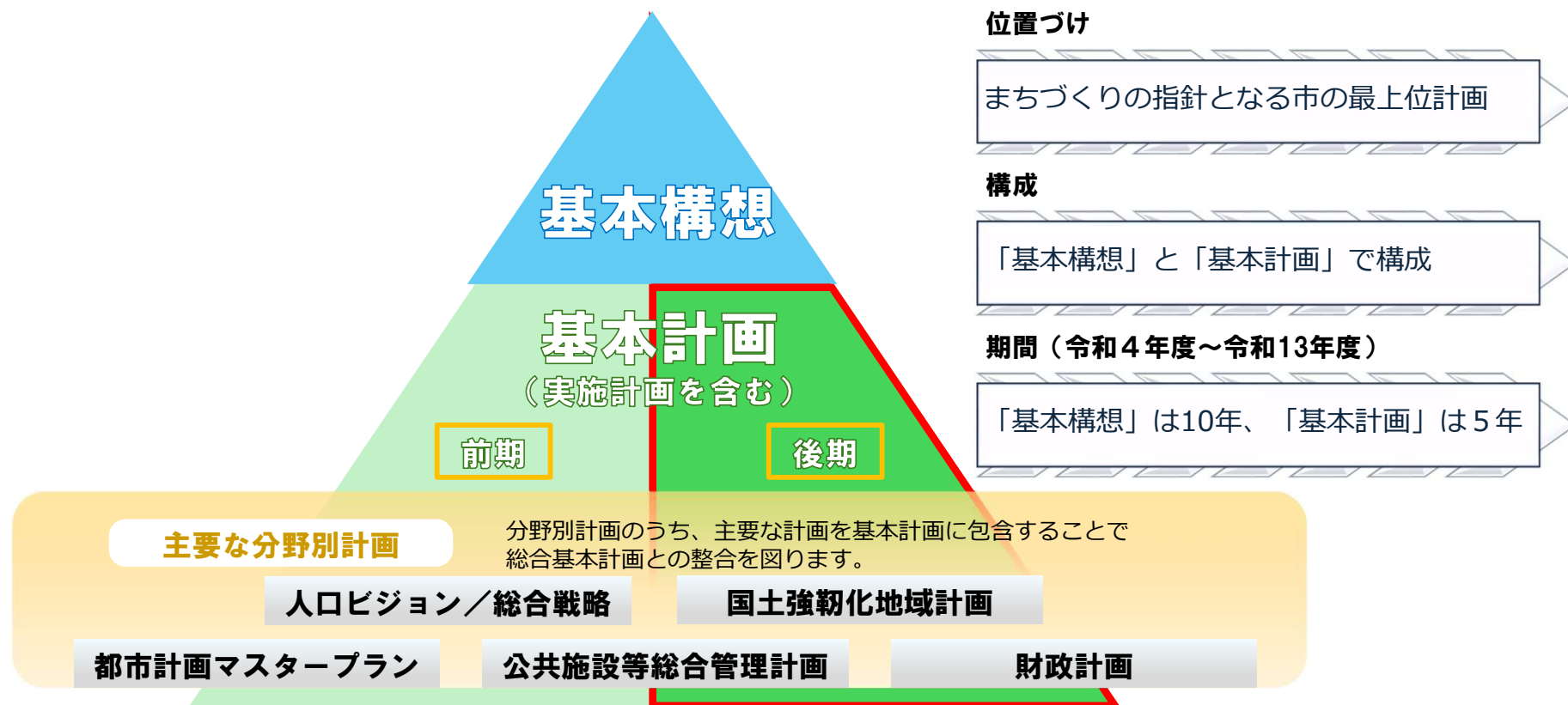
昭島市企画部

令和8年9月13日（日）

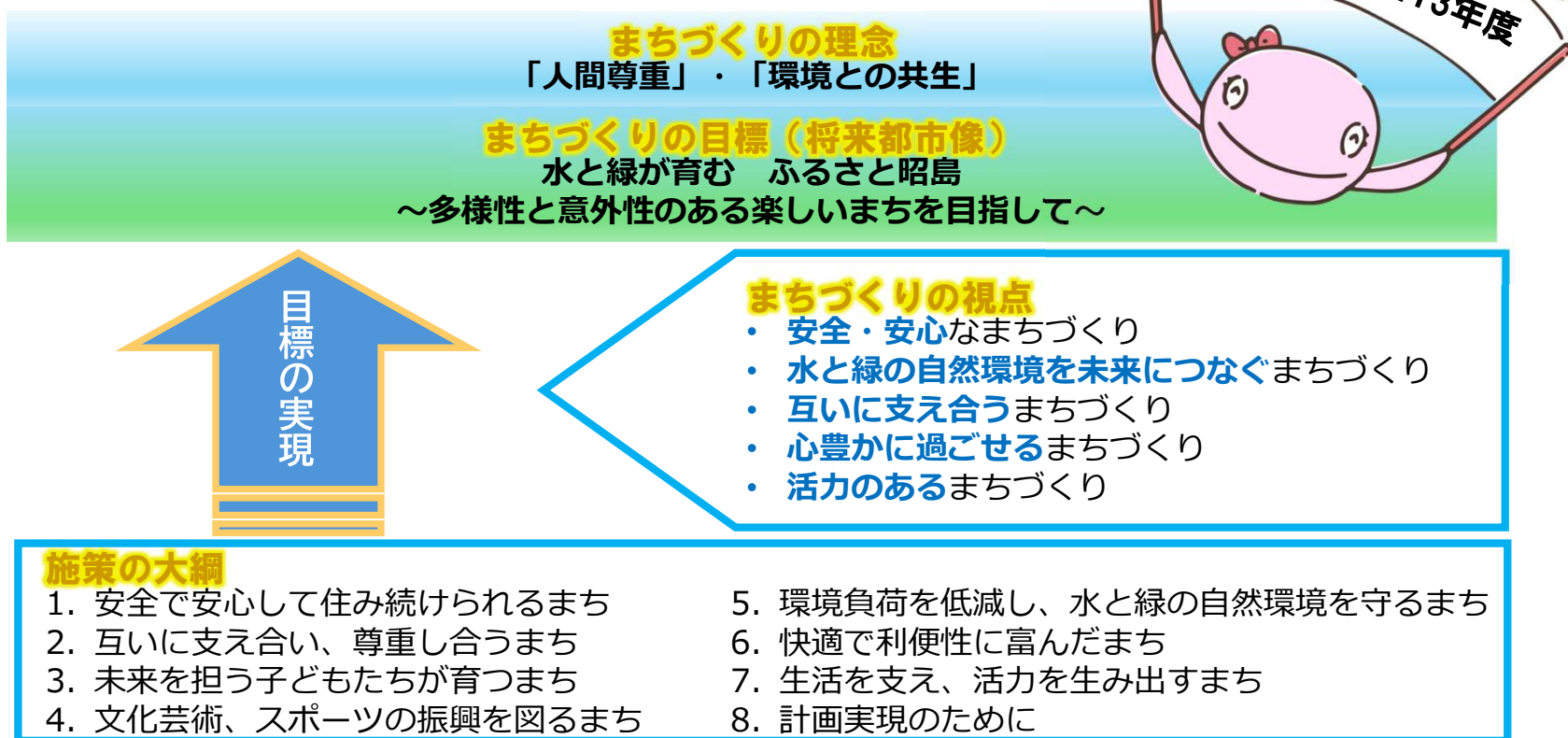
目次

- 1 総合基本計画について
- 2 基本構想について
- 3 基本計画について
- 4 基本計画（後期：令和9年度～令和13年度）の策定
 - （1）策定までの取組について
 - （2）前期計画期間（令和4年度～令和8年度）の評価
 - （3）市の現況について
- 5 策定した素案について

1 総合基本計画について



2 基本構想について



3 基本計画について

□ 計画期間

前期（令和4年度～令和8年度）、後期（令和9年度～令和13年度）

□ 計画の見直し

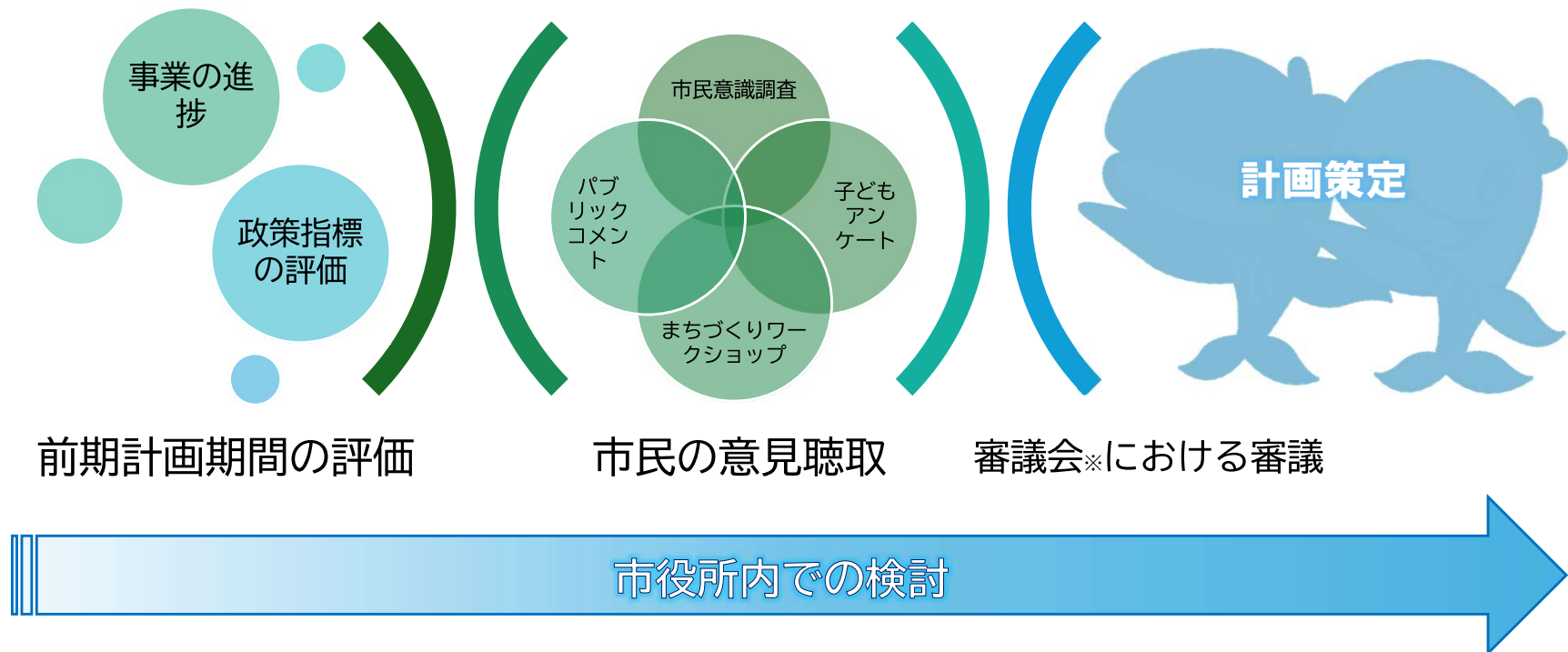
社会情勢やまちの姿の変化、施策の進捗を踏まえ5年間で見直し

基本計画は、基本構想におけるまちづくりの目標（将来都市像）の実現に向け、計画的に行財政を運営していくための基本となる施策をまとめたものです。施策の大綱に基づき、基本施策を具体的、体系的に明らかにしています。

第1章	基本計画の前提	計画策定に向けた基礎要件
第2章	市の概要	本市の自然・地理的状況、まちのあゆみ
第3章	人口ビジョン／ 総合戦略の基本目標	人口目標 社会の構造的課題の克服に向けた基本目標
第4章	計画の策定にあたって	市政全般に関わる主な分野別計画の方向性
第5章	施策の体系	基本施策 実施計画

4 基本計画（後期：令和9～13年度）の策定

（1）策定までの取組



※審議会（昭島市総合基本計画審議会）：学識経験者、行政委員会の委員、公共団体の代表者、公募の市民委員で構成する外部委員による市長の諮問機関

4 基本計画（後期：令和9～13年度）の策定

（2）前期計画（令和4年度～令和8年度）の評価

◆前期計画で予定された事業については、概ね計画どおり進捗

成果が出た取組

- ・ 防災安全対策：防災機能も有する複合施設
市民交流拠点施設の整備
- ・ 子育て支援：市民意識調査
積極的な施策展開で満足度向上
- ・ DX推進：書かない窓口の開設等
行政サービスの利便性が大幅改善
- ・ インフラ整備：南文化公園等
公園整備・交通環境の向上
- ・ 市民満足度：市民意識調査
「住み続けたい」意識が上昇

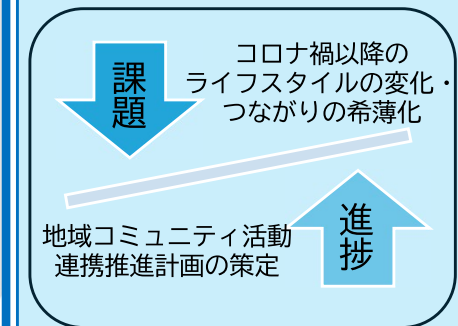
引き続き重点的に取り組む課題

- ・ 地域の担い手不足：
少子高齢化・コロナ禍の影響・生活
スタイルの変容
- ・ 文化芸術の振興：
コロナ禍の団体活動休止の影響継続
- ・ 産業・農業：
高齢化等により活性化が課題
- ・ 防犯対策：
多様化・凶悪化する犯罪への対応
- ・ インフラ老朽化：
物価高騰・人口増を踏まえた対応

例えば

地域の担い手不足

前期計画期間中、コミュニティの希薄化が加速した一方で、今後、市が目指す地域コミュニティの方向性を示す計画の策定という施策の進捗があった。

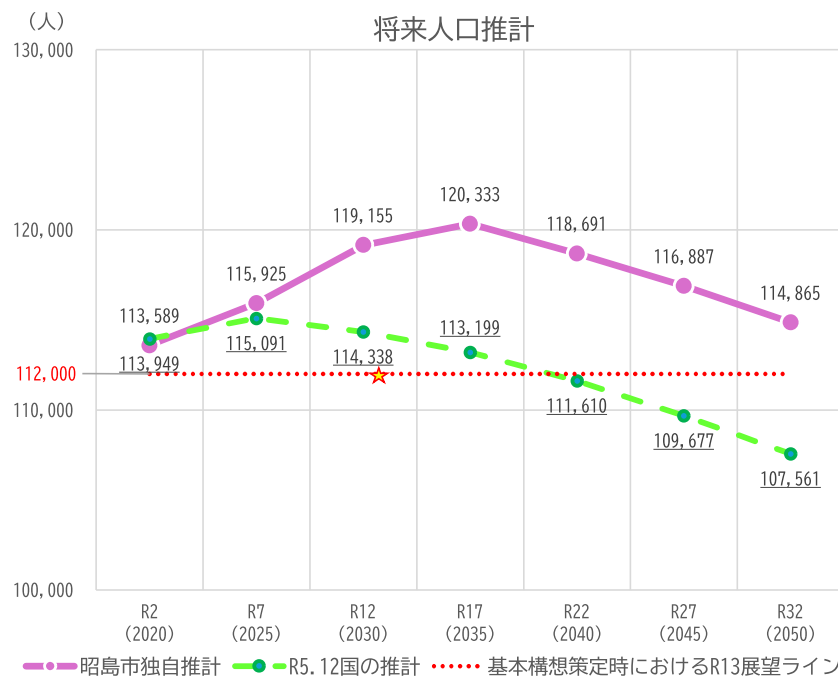


前期計画期間中に目標が達成できなかった課題は、後期計画に引き継いでいきますが、前期計画期間中に進捗がなかったわけではありません。

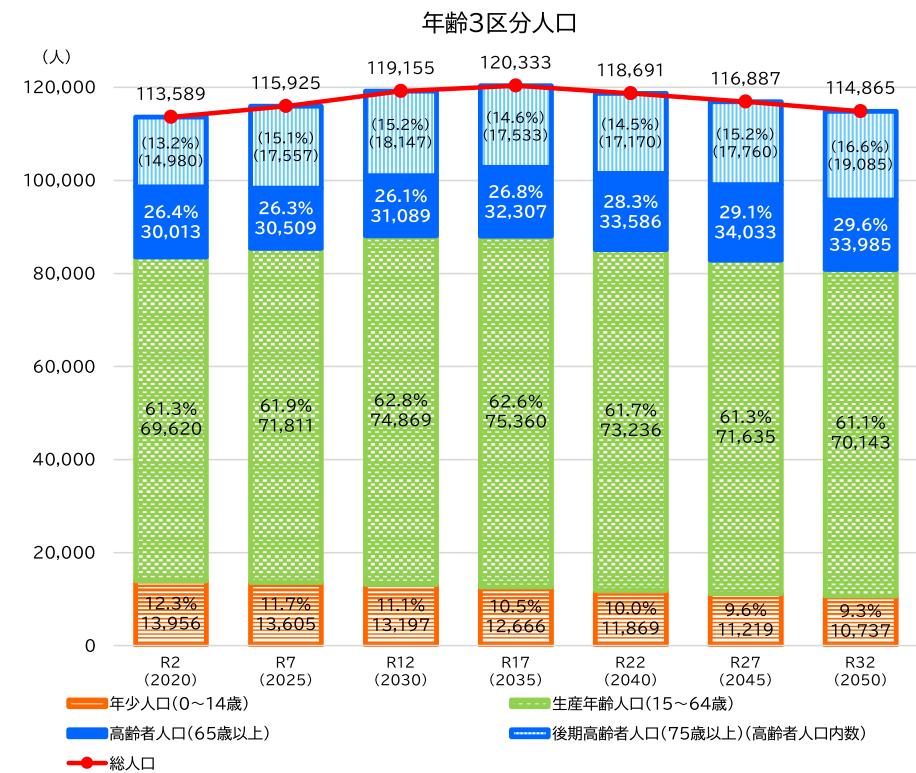
後期計画では、この計画を基に、具体的な施策を展開していく。

4 基本計画（後期：令和9～13年度）の策定

（3）市の現況について



大規模な宅地開発の影響で、短期的には人口は増加傾向にあるものの、出生数の減少は続いており、長期的には減少が見込まれる。



高齢化の進行、生産年齢人口の減少により、就業者数や経済・財政状況の変化など、まちをとりまく環境変化が予想される。

5 基本計画（後期）素案について

素案
3ページ

構成は前期計画から変更せず、各章を見直しました。

第1章	基本計画の前提	計画策定に向けた基礎要件	社会経済情勢を踏まえ 更新
第2章	市の概要	本市の自然・地理的状況、まちのあゆみ	時点 更新
第3章	人口ビジョン／ 総合戦略の基本目標	人口目標 社会の構造的課題の克服に向けた基本目標	社会経済情勢を踏まえ 更新
第4章	計画の策定にあたって	市政全般に関わる主要な分野別計画の方向性	公共施設等総合管理計画の 改定
第5章	施策の体系	基本施策 実施計画	社会経済情勢、 施策の進捗を踏まえ 更新 実施計画は今後策定

第1章 基本計画の前提



社会背景

- ✓ 新型コロナウイルス感染症収束後の社会（生活様式等の）変容
- ✓ 社会意識
- ✓ ライフスタイルや価値観の変化・多様化
- ✓ 物価高騰や賃上げの動向、環境や災害等の社会課題

(1)

人口減少・超高齢化社会

- 時点更新
- 外国人住民の増加

(2)

デジタル化の推進

- 国や東京都の動向を反映
- AIをはじめとする新技術の活用

(3)

環境問題

- 気候危機の深刻化
- 国や東京都の動向を反映

(4)

安全で安心な暮らし

- 火山噴火等の課題
- 能登半島地震等の教訓
- 防犯の視点

(5)

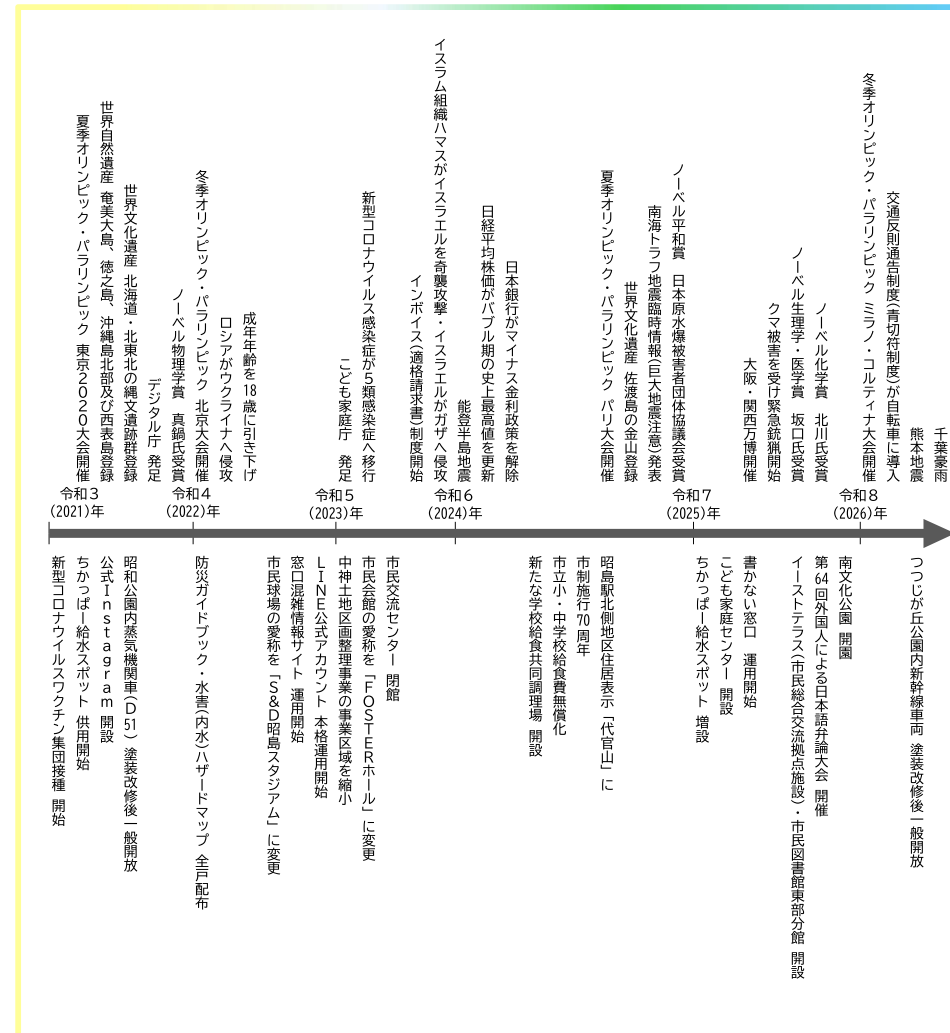
地域コミュニティのあり方

- 国の動向を反映
- 地域コミュニティ活動連携推進計画の策定

第2章 市の概要

素案
15ページ

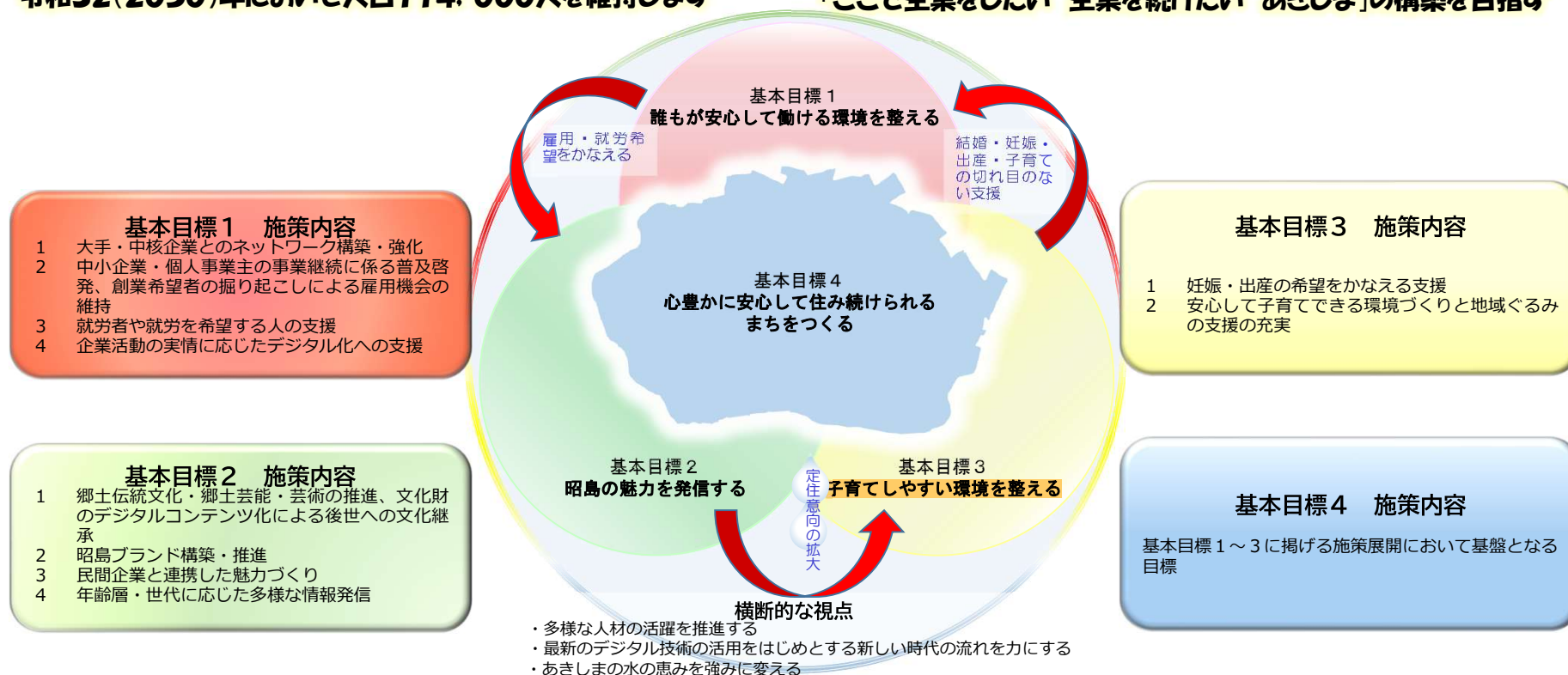
時点修正 令和3年以降の出来事を追記



第3章 人口ビジョン/総合戦略の基本目標

素案
17ページ
～

「訪れてみたい 住んでみたい 住み続けたい あきしま」
令和32(2050)年において人口114,000人を維持します 「ここで生業をしたい 生業を続けたい あきしま」の構築を目指す



第4章 市政全般に関わる 主な分野別計画の方向性

素案
47ページ
～

国土強靱化地域計画

大規模災害に平時から備えるための計画

- 前期計画からの変更なし

都市計画マスタープラン

都市づくりの今後の在り方を示す計画

- 前期計画からの変更なし

公共施設等総合管理計画

公共施設の今後の在り方を示す計画

- **改定**

財政計画

財政的な裏付けを図るための計画

- 後期計画の基本施策及び実施計画を踏まえ、今後**策定**

公共施設等総合管理計画

(計画期間：平成29年度～令和18年度)

素案
56ページ
～

持続可能な行政サービスの実現のため、
公共施設等のマネジメント(適正な保有・維持管理)推進に取り組む

計画改定の背景

- 策定から10年経過（老朽化の進行）
- 個別施設計画（令和8年4月改定）を反映
- 人口推計を反映

構成

- 公共施設等の保有状況
- 計画策定時から実施した対策
- 今後の見込み、現状・課題
- 公共施設等の縮減面積の目標
- 今後の方針

時点更新

時点更新

ポイント①

ポイント②

ポイント③

ポイント①

更新等費用の再積算

- ①本計画策定時の財政推計：
一般財源額 396億円
- ②個別施設計画の対策費用：
一般財源額 292億円
- ①②比較による圧縮額：
一般財源額 104億円

ポイント②

目標年度のスライド

- 縮減面積の目標：
25,000㎡
- 目標年度： 令和32年度

人口のピークの変動
(令和3年度→令和17年度)
に伴い、目標年度を
14年スライド

ポイント③

今後の方針

- 10の基本方針
➡ 着実な推進
- 9項目の具体的な実施方針
➡ 包括施設管理の導入等
- フォローアップの実施方針

第5章 施策の体系

基本構想で定める8本の柱

防災・安全 大綱1 安全で安心して住み続けられるまち

保健・福祉 大綱2 互いに支え合い、尊重し合うまち

子育て・教育 大綱3 未来を担う子どもたちが育つまち

文化芸術・生涯学習 大綱4 文化芸術、スポーツの振興を図るまち

環境・衛生 大綱5 環境負荷を低減し、水と緑の自然環境を守るまち

都市整備・交通 大綱6 快適で利便性に富んだまち

産業・観光 大綱7 生活を支え、活力を生み出すまち

協働・連携 大綱8 計画実現のために

大綱1 安全で安心して住み続けられるまち

素案
83ページ
～

①防災・危機管理体制の構築 ②交通安全の推進 ③防犯対策の充実

○社会情勢の変化

- ・ 災害の激甚化や、前期計画期間に発生した災害からの教訓・課題
- ・ 国の自転車交通安全対策や、宅地開発に伴う自転車利用者の増加
- ・ 犯罪の多様化・凶悪化

○施策の進捗

- ・ 地域コミュニティ活動連携推進計画の策定

○政策指標の変更

③防犯対策の充実

New 居住地域が安全で安心して暮らせる場所だと感じる割合を維持します

○主な取組項目の再編

①防災・危機管理体制の構築

New c. 避難所運営の質の向上や避難所情報の共有化

New g. 新型インフルエンザ等の感染症に対する対応

○その他の主な取組

- ・ 防災・減災に視点を置いた地域コミュニティづくりの支援

ポイント

気候変動による災害の激甚化や、能登地震等の教訓を踏まえ、避難所運営の充実や地域での助け合いをより一層重視する内容に改めました。また、刑法犯認知件数の増加を受け、市民の安全安心の体感の向上を目標として加えています。

大綱2 互いに支え合い、尊重し合うまち

素案
93ページ
～

①コミュニティ活動の推進 ②健康支援・医療体制の充実
③高齢者・障害者福祉の充実 ④社会保険制度の充実
⑤地域福祉・セーフティネットによる生活環境の整備
⑥多様性を認め合える地域の醸成

○社会情勢の変化

- ・ 外国人住民の増加

○施策の進捗

- ・ 地域コミュニティ活動連携推進計画の策定
- ・ 健康あきしま21計画の策定
- ・ 地域福祉計画の策定

○政策指標の変更

○主な取組項目の再編

②健康支援・医療体制の充実

New e. 感染症のまん延防止等への対策

⑤地域福祉・セーフティネットによる生活環境の整備

New c. 多様化・複雑化、複合化する課題への対応

○その他の主な取組

- ・ 地域コミュニティ活動連携支援(人づくり・縁づくり・場づくり)
- ・ ひきこもり状態にある方やその家族に対する支援

ポイント

コロナ禍の経験を踏まえた感染症対策の制度化や、ひきこもりなどの複合的な生活課題への包括的な支援体制づくりを新たな柱として加えました。外国人住民の増加など、地域の多様化にも対応する内容としています。

大綱3 未来を担う子どもたちが育つまち

素案
107ページ
～

- ①子ども・子育て環境の整備
- ②幼児教育・保育の充実
- ③学校教育の充実
- ④青少年の健全育成の推進

前提となる事項

○社会情勢の変化

- ・ こども基本法の施行
- ・ 宅地開発に伴う人口の増加
- ・ 保育士等の人材不足

○施策の進捗

- ・ 保育料や副食費の無償化
- ・ 子ども・若者未来会議【子ども・若者の意見の反映】
- ・ 地域コミュニティ活動連携推進計画の策定

○政策指標の変更

○主な取組項目の再編

②幼児教育・保育の充実

New a. 保護者支援の充実

○その他の主な取組

- ・ 要支援児童・家庭を取り巻く関係機関等との連携強化
- ・ 保育環境の整備、待機児童対策の促進
- ・ 地域学校協働活動の推進、部活動の地域連携・地域展開の推進
- ・ 学校施設の更新を含めた中長期的な整備計画の策定
- ・ 新たな子どもの居場所づくりの推進

変更の概要

ポイント

子ども・若者の権利と意見を大切にする視点を計画全体に盛り込みました。人口増に伴う保育需要への対応・保護者支援の充実、学校施設の老朽化対策、子どもの居場所等の環境の充実を多角的に推進します。

大綱4 文化芸術、 スポーツの振興を図るまち

素案
119ページ
～

- ①文化芸術活動の促進
- ②文化財の保護・調査・活用
- ③スポーツ・レクリエーションの振興
- ④図書館活動の充実
- ⑤生涯を通じた学習活動の推進

前提となる事項

○社会情勢の変化

- ・ 生涯学習活動の推進（リカレント教育の推進と地域コミュニティを支える社会教育人材の養成）

○施策の進捗

- ・ イーストテラス（市民図書館東部分館を含む）の開設
- ・ スポーツ施設整備構想の策定

○政策指標の変更

○主な取組項目の再編

○その他の主な取組

- ・ 文化芸術の振興を推進する庁内組織の在り方を検討
- ・ 運動施設の複合化・再編等の計画的な整備
- ・ 猛暑の中でも安全で安心して利用できる運動施設の環境整備

変更の概要

ポイント

身近な場所で生涯を通じて学習に親しめる環境づくりに取り組み、「ウェルビーイング」を目指したリカレント教育の推進と地域コミュニティを支える社会教育人材の養成を図ります。また、スポーツ施設整備構想に基づき、スポーツ環境の充実を図ります。文化芸術については、庁内体制の在り方の検討を含めた施策展開を図ります。

大綱 5 環境負荷を低減し、 水と緑の自然環境を守るまち

素案
131ページ
～

①地球環境の保全 ②水と緑の環境保全 ③ごみ処理の推進

前提となる事項

○社会情勢の変化

- ・ 気候危機及びそれに伴う影響の深刻化
- ・ 地域環境の変化

○施策の進捗

- ・ 事業系ごみ搬入手数料の改定
- ・ 災害廃棄物処理計画の策定

○政策指標の変更

○主な取組項目の再編

○その他の主な取組

- ・ カーボンクレジットを紐づけたエネルギー調達の枠組みの検討

変更の概要

ポイント

地球温暖化や気候変動への対応が急務となる中、省エネ・プラスチック削減など、市民の日常生活に身近な取組を強化します。樹木の安全管理や災害時のごみ処理など、安全・安心の視点からも施策の充実を図ります。

大綱 6 快適で利便性に富んだまち

素案
139ページ
～

①公共交通網の充実 ②道路環境の整備 ③深層地下水100%水道水の供給 ④下水道の維持管理 ⑤市街地の整備 ⑥快適な公園の確保 ⑦住環境の保全

前提となる事項

○社会情勢の変化

- ・ 宅地開発に伴う人口の増加
- ・ 道路交通環境の変化

○施策の進捗を踏まえた記載に修正

- ・ 中神駅北側地域の整備手法変更

○政策指標の変更

○主な取組項目の再編

○その他の主な取組

- ・ 鉄道事業者に対するホームの改修等利用者安全性確保の要請
- ・ 将来交通量や歩行者・自転車安全対策等を踏まえた道路整備
- ・ 下水道施設の老朽化対策
- ・ 中神駅北側地域の基盤整備
- ・ 公園の維持管理手法の検討
- ・ 駅周辺の喫煙所設置の検討

変更の概要

ポイント

昭島市では人口増加が続いており、交通・道路・水道・公園など生活インフラ全般を対応させる視点で記載を変更しています。昭島市の宝である深層地下水100%の水道水供給については、安全性・安定供給の両面で確実に取組を継続します。

大綱 7 生活を支え、活力を生み出すまち

素案
155ページ
～

- ①地域振興と就労環境の充実 ②商工業の振興 ③都市農業の振興
④観光まちづくりの推進 ⑤消費生活環境の充実

前提となる事項

○社会情勢の変化

- ・ 消費者行動の変化
- ・ 特定生産緑地制度の創設

○施策の進捗

- ・ まちづくり企業サミットの開催

○政策指標の変更

①地域振興と就労環境の充実

事業所数を維持します ➡ 総合戦略における議論を踏まえ削除

⑤消費生活環境の充実

あきしま省エネファミリーの登録件数を増やします（事業完了）

➡ **New** リユース食器貸出事業の利用者数を増やします

○主な取組項目の再編

○その他の主な取組

- ・ 官民連携したまちづくりの取組強化
- ・ 昭島市の魅力発信の強化

変更の概要

ポイント

コロナ禍を経た経済環境の変化や物価高騰など、事業者や市民が直面する課題に対応し、農業・観光など昭島の特色を伸ばし、守りながら、身近な消費生活の安全・安心も引き続き重視します。

大綱 8 計画実現のために

素案
167ページ
～

- ①健全で持続可能な行財政運営の推進
②連携と協働によるまちづくりの推進
③情報通信技術の活用によるまちづくりの推進
④「ふるさと昭島」として愛されるまちづくりの推進

前提となる事項

○社会情勢の変化

- ・ 宅地開発に伴う人口の増加
- ・ 人口減少・超高齢化社会

○施策の進捗

- ・ 地域コミュニティ活動連携推進計画の策定
- ・ 行政DXの推進

○政策指標の変更

○主な取組項目の再編

③情報通信技術の活用によるまちづくりの推進

- a. デジタル化の推進
- b. デジタル技術の活用

New

市民サービスのDX
庁内業務DX

○その他の主な取組

- ・ デジタル技術の活用による市民参画
- ・ 情報発信力の強化及び市民参画の推進・協働(子ども・若者意見)

変更の概要

ポイント

行財政運営の持続可能性を高めながら、市民・地域・行政が一体となってまちづくりを推進する体制の強化を図ります。デジタル技術の活用により市民が市政に参加しやすい仕組みづくりを進め、子どもアンケートや若者ワークショップで浮き彫りとなった情報発信力に関する課題の解消に取り組みます。